



福井町 井馬 有輝さん

私は、穴吹デザインビューティカレッジ美容学科で美容師の国家資格を取るための技術を学んでいます。趣味はドライブや野球観戦です。

ふるさと自慢は「タケノコ」です。福井町は農業の町で、いたる所に竹林が広がっています。その長所を生かすためには、農家の高齢化や後継者不足問題を解決するためのアイデアが必要です。阿南市は、経済的に余裕があると聞いています。ショッピングモールなどを誘致してみてもいいでしょうか。若者は大歓迎です。それと、市長さんは、お話の中で「病院が統合する」とおっしゃっていましたが、いつごろの予定なのでしょう。

私は、阿南工業高等専門学校の機械工学科で、機械の専門知識を習得しています。今は、卒業研究に取り組んでいます。趣味はスポーツ。社会人として自覚を持ち、信頼される人になりたいです。

ふるさと自慢は、長生町にある庭園の美しい桂国寺や明谷梅林、石門公園です。なかでも石門公園はロッククライミングの練習場所になっています。市で専門講師を雇うなどして、体験教室を開催してみたいと思います。

それと、「光のまち阿南」というわりにイベントの規模が小さいと思います。道路をライトアップするなど、イルミネーションのエリアをもっと拡大してほしいと思います。



長生町 横手 由紀子さん



橘町 沖野 耕司さん

私は、穴吹情報公務員カレッジの行政ビジネス学科で、公務員になるための勉強に励んでいます。趣味は音楽鑑賞やスポーツ観戦。少年野球の手伝いもしています。社会人になったらビッグクラブの試合を観戦したいです。

ふるさと自慢は、自然に恵まれ、魚介類が豊富にとれることです。全国でも珍しいとされる「けんかだんじり」には、四国の他県や近畿からも来てもらえるよう、PRし続けることが大事だと思います。

それと「野球のまち阿南」について、大学や社会人チームの合宿は誘致できていますが、プロ野球1軍の合宿やオープン戦などは誘致できないのでしょうか。

私は、徳島歯科学院専門学校で歯科衛生士をめざして勉強しています。ふるさと自慢は、阿南市に「ゆるキャラ」が誕生したことです。「あななん」が「くまモン」くらい有名になれば、阿南市の知名度も上がると思います。テレビ出演したり、阿南市の特産品に「あななん」のシールを貼ったりしてPRしてみたいです。

ところで、「あななん」はツイッターやフェイスブックはしないのですか。阿南市をPRするためには、こまめな情報発信は欠かせません。20年後には「あななん」も成人式に出席すると思います。それまで人気を保たれてほしいよう、私もサポートしていきたいです。



柳島町 幸田 琴美さん



羽ノ浦町 株木 祐介さん

私は、阿南工業高等専門学校の機械工学科で、英語力と工作機械を学んでいます。趣味はスノーボードやスケートボードで、スケートボードパークにはよく通っています。ふるさと自慢は、500本のソメイヨシノが咲き誇る桜堤公園と、400坪の桜並木が続く桜の馬場です。山腹にある香風台公園からの眺めも最高で、日の出や花火などが楽しめます。

市内にはたくさんのお花見スポットがあるので、花見ツアーを企画してはどうでしょうか。また、スケートボードパークでスクールや大会を開催すれば、県内外から多くのスケーターが集まり、まちの活性化につながると思います。

私は、高知大学の農学部農学科で、食品関係について学んでいます。将来、阿南市に戻って大学で学んだことを生かせる仕事に就きたいです。ふるさと自慢は、自然豊かでLEDや阿波踊りが盛んなところ。高知県の人も阿波踊りを絶賛していて、その伝統と美しさを受け継いでいきたいと思っています。



見能林町 宮地 諄さん

私は、徳島大学の機械工学科で材料力学や機械工学などの基礎を学んでいます。大学ではサッカーサークルに所属しています。趣味は、釣りと音楽鑑賞です。

ふるさと自慢は、豊かな自然と食べ物がいっぱい。化学会社や電力会社などの大きい企業があり、住みやすいまちだと思います。阿南市をPRするために、日本一やギネス記録に挑戦してみたいです。

ニュースで取り上げられたら、全国にその名が知れ渡るし、人とのつながりも生まれます。それと、道の駅には多くの人が立ち寄りますが、施設を有効活用することで、まちの活性化につなげられないでしょうか。



岩浅 嘉仁

輝かしい2014年の新春に成人式を迎えられる新成人の皆さん、ご成人おめでとうございます。これからの阿南市の若き担い手として活躍されることを期待しています。

新春企画 新成人と市長による

新春座談会



去る11月23日、14人の新成人と岩浅市長が「ふるさとの自慢をアピールするために」をテーマに、阿南市の自慢やPRの仕方、将来のまちづくりなどについて語り合いました。



睨町 近藤 真衣さん

私は、高知大学の農学部農学科で、食品関係について学んでいます。将来、阿南市に戻って大学で学んだことを生かせる仕事に就きたいです。ふるさと自慢は、自然豊かでLEDや阿波踊りが盛んなところ。高知県の人も阿波踊りを絶賛していて、その伝統と美しさを受け継いでいきたいと思っています。



榎町 助野 薫樹さん

私は、神戸ベルエール美容専門学校に通い、クリエイティブな美容師をめざしています。将来は、開業したいと考えています。

ふるさと自慢は、春にヒウ才漁、夏にアカウミガメの上陸、秋にアサギマダラの飛来、冬に心も体も温まるかもだ岬温泉があることです。椿泊でとれる魚介類は新鮮で、神興の海上渡御や水上花火は、ここでしか堪能することができない最高の輝きです。もう一度行ってみたいと思つてもらうには、「最高のおもてなし」をすればいいと思います。それと、児童・生徒数の減少が気になります。椿や椿泊小学校、榎町中学校は存続するのか心配です。



桑野町 武知 実波さん

私は、徳島大学総合科学部人間文化学科で英語や文化を学んでいます。プロサーファーとして世界のトップをめざしているほか、大学でもサーフィンクラブを立ち上げ、その普及に努めています。阿南市ふるさと大使も務めさせていたでいます。

ふるさと自慢は、世界でも有数の波が立つ「阿南を含む県南の海」です。実は、世界中から有名なサーファーが訪れています。「サーフィン大会」や「観光地引き網」などを組み合わせた自然体験ツアーを企画してみたいと思います。それと、阿南の海に魅せられて移住してくる家族も多いので、空き家を有効活用するなどの受け皿づくりを進めてほしいと思います。



宝田町 武田 健斗さん

私は、建設業の仕事をしてます。1級建築士の資格を取得するために頑張っています。

ふるさと自慢は、自然が豊かです。まちが明るいと、自然が豊かです。キャンプ場をつくるなどして

阿南の自然を満喫してもらえばいいと思います。

それと宝田町では、5年ほど前から、地元青年会が中心となって花火大会を復活させました。秋の一大イベントとして、地元の方をはじめ大勢の方に楽しんでいただいています。訪れる人が毎年増えているのがうれしいです。今は鳴門市の花火大会より規模は小さいのですが、いつかは県下一の花火大会にしたいと思つています。



新野町 瀬藤 悦子さん

私は、関西学院大学国際学部で、英語や世界経済などを学んでいます。外国人とのコミュニケーションが好きで、将来は、徳島県と外国との架け橋になるような仕事に就きたいと考えています。

ふるさと自慢は、便利な都会の暮らしとは違った豊かさがあるところです。四季の美しさが感じられ、水道水はとてもおいしいし、自然の豊かさをPRして、都会生活に疲れた人にスローライフを提供してはどうでしょうか。最近、子どもの数が減少しています。都会に出た若者が就職や結婚で戻ってこなければますます人口が減ります。子育てしやすい環境づくりなどに取り組んでいますか。



吉井町 福川 祐実さん

私は、姫路赤十字看護専門学校で、看護について学んでいます。はやく自立して、信頼される人になりたいです。ふるさと自慢は、午尾の滝やお松大権現といった名所があることや、加茂谷鯉まつりに毎年大勢の家族連れが訪れていることです。ふるさとの良さを知ってもらうためには、実際に足を運んでいただくのが一番。県外にいる人たちに、口コミでPRしてほしいと思います。

阿南市は「光のまち阿南」といわれています。加茂谷には街路灯などが少ないと思います。イベントだけでなく、暮らしの中にもたくさん光を取り入れて、まちを活性化してほしいと思います。



那賀川町 高田 真由さん

私は、穴吹デザインビューティカレッジで、美容師になるための技術を習得しています。「あなん光の天使」の経験を生かして、就職先の神奈川県でも阿南市をしっかりとPRしたいと考えています。

ふるさと自慢は「野球」です。平成22年4月に全国で初めての「野球のまち推進課」が創設され、全国規模の大会や大学野球の合宿がJAAアグリあなんスタジアムで行われています。野球のこともっと勉強して、「野球のまち阿南」を広めたいです。

ところで、「あなん光の天使」が来年で終了すると聞いていますが、継続は難しいのでしょうか。いろいろなことを経験できるので残念です。



(司会) 企画部長 吉澤 健二

私は、電気関係の仕事をしています。趣味は、小学校から高校まで続けた野球と釣りはです。

阿南市は「光のまち阿南」として、「野球のまち阿南」として売りに出しています。野球をしていた私には、とてもうれしく感じるとともに自慢でもあります。野球というスポーツをいろいろな形で広げていけば、阿南市はもっと活性化していくのではないのでしょうか。

大野には、阿南西部公園があり、ニンジンも有名です。そうした地域資源も活用してほしいと思います。最近、地元商店が少なくなってきた感じがかりです。何かいい手立てはありませんか。



中大野町 齋藤 公志さん

市長コメント (要約)

若者の定住促進

人口の増減には、2つの要因があります。ひとつは出生と死亡による自然増減、もうひとつは社会増減です。本市の人口推移については、ここ数年は約4500人の自然減が続いていますが、転出と転入による社会増減で見ると、平成24年に初めてプラスに転じました。これは、市内に立地する優良企業の雇用拡大によるものと考えられ、本市としても雇用環境の充実や少子化対策を通して、若者の定住促進を図ってまいりたいと考えています。

四国の経済を支える発電力

橘湾石炭火力発電所は、四国電力と電源開発の共同立地による国内最大の石炭火力発電所であり、四国だけでなく関西地域の中心的なエネルギー基地として大きな役割を担っています。四国の電力需要の約7割を担える発電力を持ち、四国経済を支える重要なエネルギー供給拠点となっています。

地域医療体制・子育て支援の充実

本市には、地域の中核病院として阿南医師会中央病院と阿南共栄病院がありますが、今後の地域医療のあり方について本市を含む3者で検討を重ねた結果、両医療機関を統合し、新たな医療施設「阿南中央医療センター(仮称)」の設立に向けて、協議を行うことになりました。新たな医療施設は中央病院に隣接して建設する予定で、救急医療や災害拠点病院としても期待しています。特に、乳幼児医療体制の充実に力を入れていきたいと考えています。

ほかにも、子どもの医療費助成対象の拡大やこどもセンターの新設など、子育て環境の充実を図っているところです。今後も、こうした施策を充実させ、市民の皆さまに住んでよかった、住みたいと思っただけのまちづくりを進めていきたいと考えています。

